

施設名	ばる★キッズ足立
施設所在地	足立区中央本町4-3-23
法人名	生活協同組合バルシステム東京

1. 活動のテーマ

<テーマ>

たくさんのお虫を探してを通じて、身近な自然とのふれあいを楽しもう！

<テーマの設定理由>

ちょうちょうになった青虫との観察、ふれあいから今度は秋の生き物（トンボやバッタなど）に興味を示す。
生育していたカブト虫の幼虫や公園のセミの抜けがらから土の中にはどんな生き物がいるのか興味津々の子どもたち。
そこで園庭や散歩先での虫たちとの出会いを楽しみにしている子どもたちの様子に保育者が気が付き、今回のテーマとする。

2. 活動スケジュール

- ◆虫の採集・観察
- ◆園庭や公園の土や生花を使って見立てあそび

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ◆アート教室の開催（絵の具、綿棒、画用紙等）
- ◆調査用（虫の図鑑・絵本）
- ◆砂場玩具
- ◆自然を身近に感じられるよう山から腐葉土を選び、土壌改善と生き物が住みやすい環境に設定
- ◆生き物が多く生息している公園へ散歩に行く

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ◆園外の生き物調査（採集・観察・図鑑を使って調べる）
- ◆生花を使って土あそび（見立てあそびなど）
- ◆園庭や公園で捕まえた虫を園に持ち帰り、虫を通じて他クラスと観察をしながら乳幼児の関りを深める
- ◆葉っぱの観察と表現（木や葉を描く）

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ◆水あそび活動を終え、「園庭に虫を探しに行きたい」「網を持って虫探しに行きたい」「トンボを捕まいたい」などと戸外へ行き、虫取りをしたいという声が多くなり、各クラスで虫探しに興味を示す。
- ◆公園では網を持ってトンボを追いかけたり子や草むらを取ってバッタを探す子などの姿を多く見るようになった。捕まえられなくても、網をもって追いかけただけで満足し、まるで探検隊のように楽しんでいる。
- ◆「〇〇捕まえたよ！」「見せて！見せて！」「どこで見つけたの？」「一緒に探しに行きたい！」などと友だち同士でも会話も増えたり、同じ活動を楽しんでいる。
- ◆スコップやバケツを使用して、土の中をたくさん掘り、虫探しを楽しむ。「ほくは探検家でーす！」と言って土の中の虫との出会いにワクワクする姿が見られた。



▲「むしたちのひろば」の花を使った見立てあそび ▲公園でも土を掘って虫探しに夢中「僕は探検家で ▲ケースを使い、近くで観

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ◆園庭で見つけた青虫がちょうちょうになる過程を知ったことにより、他の虫への興味や関心が深まったこと。
- ◆虫好きの友だちの姿を見て、虫に触れることへの抵抗が減り、クラスみんな楽しんでるようになった。
- ◆虫を通して子どもたちの会話や関わりが増えて、友だち同士の良いところを見つけられるようになった。
- ◆虫探しの際に見つけられない子に対して、一緒に探してあげたり、見つけた場所を教えてあげたり、思いやりの心が芽生えるようになった。
- ◆環境設定の一つである人数準備することで、一人ひとりが満足して遊べることの大切さを再確認した。
- ◆生花を使って見立てあそびする中で興味のなかった男児も夢中になって遊ぶ姿が見られるようになった。